

級に認定します

前までの級

試験場

二年F組

氏名

模範答案

問一 解答欄

あり

みゆ

こむ

くしんを

うまるとに

問二 解答欄

書を学ぶということは、古典の名跡

によって、その用筆法や造形性、書

者の精神を学ぶことである。歴史

に残る名筆を学習することを繰り返

返して技術を向上させ、鑑賞を

高めて、表現力を豊かにすることであ

る。

(「書の手帖」より)

問三 解答欄

緊張が高まり、それが一  
気にほどけ、しかし何事も起  
こらない徒労がまた一から  
始められる。ただ、曇った音響  
が時を刻んで、庭の静寂寂  
と時間の長さをいやが中上  
にも引き立てるだけである。

(「水の東西」より)

問四 解答欄

永和九年歳在

問五 解答欄

ユ は 由 波

メ る 女 留

タ か 夕 加

ノ す 乃 寸

シ み 之 美

級に認定します

前回までの級

2

試験場

二年二組

氏名

模範答案

問一 解答欄

あり

みよし

くもし

くもし

うもよたに

問二 解答欄

書を学ぶとは、古典の

名跡によって、その用筆法や造形性、

書者の精神を学ぶことである。

歴史に残る名筆を学習することを

繰り返して技術を向上させ、鑑賞

眼を高め、表現力を豊かにする

ことである。「書の年帖」より

問三 解答欄

緊張が高まり、それが  
一気にほとけ、しかし何  
事も起こらない徒労が  
また一から始められる。  
ただ、曇った音響が時を  
刻んで、庭の静寂と時間  
の長さをいやが上にも  
引き立てるだけである。

「水の東西」より

問四 解答欄

永和九年歲在

問五 解答欄

は 波

ユ 由

る 留

メ 女

か 加

タ 多

す 寸

ノ 乃

み 美

シ 之

級に認定します

前回までの級

2

試験場

二年 A組

氏名

模範答案

問一 解答欄

あり

みより

こころ

こころを

うきものに

問二 解答欄

書を学ぶということは、古典の名跡

によって、その用筆法や造形性、書者

の精神を学ぶことである。歴史に残る

名筆を学習することをくり返して技術

を向上させ、鑑賞眼を高めて、表現力

を豊かにすることである。

(「書の手帖」より)

問三 解答欄

緊張が高まり、それが  
一気にほどけ、しかし何事  
も起こらない徒労がまた  
一から始められる。ただ、曇  
った音響が時を刻んで、  
庭の静寂と時間の長さを  
いやが上にも引き立てる  
だけである。

(「水の東西」より)

問四 解答欄

永和九年歲在

問五 解答欄

は 波

る 留

か 加

す 寸

み 美

ユ

由

メ

女

タ

多

ノ

乃

シ

之

級に認定します

前回までの級

2

試験場

一般年

組氏名

模範答案

問一 解答欄

ありみよし  
くらしをうまうた

問二 解答欄

書を学ぶというものは、古典の名跡に  
よって、その用筆法や造形性、書者の精神  
を学ぶことである。歴史に残る名筆を  
学習することを繰り返して、技術を向上  
させ、鑑賞眼を高め、表現力を豊か  
にすることがある。  
(「書の手帖より」)

問三 解答欄

緊張が高まり、それが  
一気にほどけ、しかし  
何事も起こらない徒労  
がまた一から始められる。  
ただ曇った音響が時を  
刻んで、庭の静寂と時間  
の長さをいやが上にも  
引き立てるだけである。  
(「水の東西」より)

問四 解答欄

永和九年 歲在

問五 解答欄

ユ 由  
ハ 波  
メ 女  
ル 留  
タ 多  
カ 加  
ノ 乃  
ス 寸  
シ 美  
エ 美